

業務名 浜松医科大学臨床講義棟外部通路屋根基本設計業務

設計業務委託特記仕様書

令和 7 年 7 月

課 長	課長補佐	係 長	担 当
			

文部科学省設計業務委託特記仕様書

I 業務概要

1. 業務名称 浜松医科大学臨床講義棟外部通路屋根基本設計業務
2. 計画施設概要
 - (1) 施設名称 臨床講義棟外部通路屋根
 - (2) 敷地の場所 静岡県浜松市中央区半田山一丁目20番1号
 - (3) 施設用途 大学
3. 履行期限 令和 7 年 11 月 21 日（金）
4. 設計と条件
 - (1) 敷地の条件
 - a. 敷地の面積
 - b. 用途地域及び地区の指定 第一種、第二種中高層住居専用区域
市街化区域、建蔽率60%、容積率200%
 - (2) 施設の条件
 - a. 施設の建築面積 72㎡（既存）
 - b. 主要構造及び階数 鉄骨造 1階（既存）
 - (3) 建設の条件
建設工期 未定
 - (4) 設計と条件
詳細な設計条件 別添の設計概要書による

II 業務仕様

特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築設計業務委託共通仕様書（統一基準）（令和 6 年版）」による。

1. 特記仕様書の適用

- (1) 特記仕様書に記載された特記事項の中で・印の付いたものについては、○印の付いたものを適用する。
- (2) 表中各欄に数字、文字、記号等を記入する事項については、記入してある事項のみを適用する。
- (3) 印又は×印で抹消した事項は、全て適用しない。

2. 文部科学省設計業務委託特記仕様書における読替等

- (1) 公共建築設計業務委託共通仕様書中「調査職員」とあるのは、「監督職員」に読み替えるものとする。

3. 管理技術者の資格要件

管理技術者の資格要件は次による。

- 建築士法（昭和 25 年法律第 202 号）による一級建築士
- ・建築士法（昭和 25 年法律第 202 号）による建築設備士
- ・

~~4. プロポーザル方式により業務を受注した場合の業務履行~~

~~受注者は、プロポーザル方式により設計業務を受注した場合には、技術提案書により提案された履行体制により当該業務を履行する。~~

~~5. 計画通知における設計者~~

~~計画通知における設計者は次による。~~

- ・受注者
- ・発注者
- ・

6. 業務範囲

(1) 一般業務

委託した業務内容のうち、対象外業務等欄に記載された業務は、発注者が行うものとする。

① 基本設計

業 務 内 容		委 託	対 象 外 業 務 等
(1) 設計条件等の整理	(i) 条件整理	○	
	(ii) 設計条件の変更等の場合の協議	○	
(2) 法令上の諸条件の調査及び関係機関との打合せ	(i) 法令上の諸条件の調査	○	
	(ii) 計画通知に係る関係機関との打合せ	○	
(3) 上下水道、ガス、電力、通信等の供給状況の調査及び関係機関との打合せ		・	
(4) 基本設計方針の策定	(i) 総合検討	○	
	(ii) 基本設計方針の策定及び説明	○	
(5) 基本設計図書の作成		○	
(6) 概算工事費の検討		○	
(7) 基本設計内容の説明等		○	

(2) 追加業務

- ・積算業務
 - ・積算数量算出書の作成（数量調書の作成を含む。）
 - ・単価作成資料の作成（単価の決定及び単価調書の作成を含む。）
 - ・見積徴収及び見積検討資料の作成（単価の決定及び単価調書の作成を含む。）
 - ・工事費内訳書の作成（直接工事費の算出までとし、共通費の算出は含まない。ただし、積み上げによる共通費の算出は含む。）
- ・透視図作成
 - 〔種類（外観）判の大きさ（A4）、枚数（1）、額の有無（無）及び材料（ ）〕
- ・パンフレット
 - 〔判の大きさ（A4 両面）、枚数（1）〕
- ・透視図の写真撮影
 - 〔カット枚数（ ）、判の大きさ（ ）及び白黒・カラーの別（ ）〕
- ・模型製作
 - 〔縮尺（ ）、主要材料（ ）、ケースの有無（ ）及び材質（ ）〕
- ・模型の写真撮影
 - 〔カット枚数（ ）、判の大きさ（ ）及び白黒・カラーの別（ ）〕
- ・計画通知手続き業務（手数料を含む。）
- ・市区町村指導要綱等による中高層建築物の届出書の作成及び手続き業務（標識看板の作成、設置報告書の提出、日影図の作成）
- ・建築物エネルギー消費性能適合性判定に関する資料の作成及び手続き業務（手数料を含む。）
- ・防災計画評定又は防災性能評価に関する資料の作成及び手続き業務（手数料を含む。）
- ・構造評定又は構造性能評価に関する資料の作成及び手続き業務（手数料を含む。）
- ・コスト縮減検討報告書の作成
 - 設計にあたって、コスト縮減対策として有効なものとして採択した事項及び縮減効果等をコスト縮減検討報告書として取りまとめを行う。
- ・ライフサイクルコスト（LCC）の算定
 - 各段階（基本設計、実施設計）に応じた算定方法（略算法、精算法）により、LCCの検討を行う。
- ・グリーン購入計画書の作成
 - 設計にあたって、環境負荷を低減できる材料等について検討を行い、設計に反映させるものとし、その検討内容をグリーン購入計画書として取りまとめを行う。
- ・リサイクル計画書の作成
 - 設計にあたって、建設副産物対策（発生抑制、再利用の促進、適正処理の徹底）について検討を行い、設計に反映させるものとし、その検討内容をリサイクル計画書として取りまとめを行う。

- ・環境保全性能評価の実施
設計成果について、下記により評価を実施し、その結果を提出する。
 - ① 総合的な環境保全性能の評価（評価の方式を記載する）
 - ② 生涯二酸化炭素排出量（LCCO₂）の評価（評価の方式を記載する）
 - ③ 建築物のエネルギー消費性能の評価（評価の方式を記載する）
- 工事工程表の作成
- ・住民説明用資料の作成及び支援
- ・設計内容等により申請手続きが必要となった場合は、本業務に含むものとする。
- ・医療法申請書類（面積表）作成
- ・保全管理数量の作成
- ・資産管理数量の作成

7. 業務の実施

(1) 一般事項

- ① 業務は、提示された設計と条件、適用基準類によって行う。
- ② 業務の着手にあたり、目標となる工事費は監督職員と協議するものとする。

~~(2) 環境保全性能~~

~~(3) 環境配慮型プロポーザル方式において実施すべきと判断した技術提案~~

(4) 協議及び記録

協議は次の時期に行い、その記録を書面に残すものとする。

- ① 監督職員又は管理技術者が必要と認めたとき
- ② その他（-----）

(5) 適用基準類

関係法令のほか、次の基準等による。

① 共通

- 官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（統一基準）（平成25年版）
- 官庁施設の環境保全性基準（統一基準）（令和4年版）

② 建築

- 公共建築工事標準仕様書（統一基準）（建築工事編）（令和7年版）
- ・文部科学省建築工事標準仕様書（特記基準）（令和4年版）
- 公共建築改修工事標準仕様書（統一基準）（建築工事編）（令和7年版）
- ・文部科学省建築改修工事標準仕様書（特記基準）（令和4年版）
- 文部科学省建築構造設計指針・同解説（令和6年版）
- 静岡県建築構造設計指針・同解説（2014年版）
- 公共建築木造工事標準仕様書（統一基準）（令和7年版）
- 建築工事特記仕様書書式・同記載要領（令和2年版）※

③ 建築積算

- 公共建築工事積算基準（統一基準）（平成28年版）
- 公共建築工事共通費積算基準（統一基準）（令和7年版）
- 公共建築工事標準単価積算基準（統一基準）（令和7年版）
- 公共建築数量積算基準（統一基準）（平成29年版）
- 公共建築工事内訳書標準書式（統一基準）（建築工事編）（令和5年版）
- 公共建築工事見積標準書式（統一基準）（建築工事編）（令和7年版）
- 公共建築工事積算基準等資料（令和7年版）

(6) 参考資料

業務の実施に当たり、参考とする資料は次のものとする。

- ・建築物のライフサイクルコスト（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）（平成 年版）
- （浜松医科大学施設整備標準仕様）※（ ）
- （浜松医科大学キャンパスマスタープラン（抜粋版））※（ ）
- （浜松医科大学管理棟-臨床講義棟外部通路屋根耐震検討）※（ ）

(7) 適用基準類及び参考資料の貸与

適用基準類及び参考資料のうち※印を付したものは、1部貸与することができる。

8. 成果物及び提出部数等

(1) 基本設計

成 果 物	原 図	陽 画 焼 又 は 複 写	製 本 形 態	摘 要
一般業務 a. 総合 ○ 基本計画説明書 ○ 基本設計図 仕様概要書 仕上概要表 面積表及び求積図 敷地案内図 配置図 平面図（各階） 断面図 立面図 矩計図（主要部詳細） 日影図 ○ 工事費概算書	各 1 部 各 1 部	() 部 () 部		A 3 判
b. 構造 ○ 構造計画説明書 ○ 構造設計概要書 ○ 工事費概算書	各 1 部 各 1 部 各 1 部	() 部 () 部 () 部		
c. 設備（電気設備） ・ 電気設備計画説明書 ・ 電気設備設計概要書 ・ 工事費概算書 ・ 各種技術資料	各 部 各 部 各 部 各 部	() 部 () 部 () 部 () 部		
d. 設備（給排水衛生設備） ・ 給排水衛生設備計画説明書 ・ 給排水衛生設備設計概要書 ・ 工事費概算書 ・ 各種技術資料	各 部 各 部 各 部 各 部	() 部 () 部 () 部 () 部		
e. 設備（空調換気設備） ・ 空調換気設備計画説明書 ・ 空調換気設備設計概要書 ・ 工事費概算書 ・ 各種技術資料	各 部 各 部 各 部 各 部	() 部 () 部 () 部 () 部		
f. 設備（昇降機等） ・ 昇降機等計画説明書 ・ 昇降機等設計概要書 ・ 工事費概算書 ・ 各種技術資料	各 部 各 部 各 部 各 部	() 部 () 部 () 部 () 部		A __ 判
g. 土木 ・ 土木計画説明書 ・ 土木設計概要書 ・ 工事費概算書 ・ 各種技術資料	各 部 各 部 各 部 各 部	() 部 () 部 () 部 () 部		A __ 判
h. 追加業務 ・ 透視図 ・ 透視図の写真 ・ 模型※ ・ 模型の写真 ・ コスト縮減検討報告書 ・ ライフサイクルコスト算定資料	各 部 各 部 各 部 各 部 各 部 各 部	() 部 () 部 () 部 () 部 () 部 () 部		A __ 版

○ 工事工程表 ・ ()	各 1 部	() 部		
i . その他 ○ 各記録書 ○ (別添設計概要書Ⅳ-1 記載の 検討資料 1 式)	各 1 部 各 1 部	() 部		
j . 電子データ ○ a ～ i までの電子データ (※印を除く)	(1) 部			

- (注) : 「総合」とは、建築物の意匠に関する設計並びに意匠、構造及び設備に関する設計をとりまとめる設計を、「構造」とは、建築物の構造に関する設計を、「設備」とは建築物の設備に関する設計を言う。
: 「構造」及び「設備」の成果物は、「総合」の成果物の中にも含めることもできる。
: 「昇降機等」には、機械式駐車場を含む。
: 「計画説明書」には、設計趣旨及び計画概要に関する記載を含む。
: 「設計概要書」には、仕様概要及び計画図に関する記載を含む。
: 基本設計図は、適宜、追加してもよい。
: 成果物は、監督職員の指示により製本し、原図はケース収納 (A3・2 つ折り) とする。

9. 成果物の体裁等

- (1) 実施設計の設計原図には、表題欄に設計業務名、受注者名表示・押印、工事名称、図面名称、縮尺、図面番号及び発注部局表示・押印等の欄を設ける。
- (2) 電子データの成果物は下記による。
 - ① 電子媒体
 - C D - R
 - ② ファイル形式

図面ファイル (JWW 及び DXF ファイル※文字化けがなくレイヤーおよび縮尺を整えてあるもの) 、 Excel ファイル、 Word ファイル、 PDF ファイル

- ③ 電子媒体の提出は、別紙 1 のとおりとする。なお、電子データの成果物に対する共通仕様書に基づく署名又は捺印は、別紙 1 の措置をもって代えることとする。
- ④ 提出された C A D データは、当該施設に係る工事の請負者に貸与し当該工事における施工図及び完成図の作成に設計業務委託契約要項第 8 条第 1 項の規定の範囲で利用することができる。

別紙 1 電子媒体の提出について

- 電子媒体の提出は以下の通りとする。
- 1) CD-Rのラベルに直接署名又は捺印を行う。
 - 2) 受注者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために、下に定める様式（電子媒体納品書）に署名又は捺印の上、電子媒体と共に提出する。

業務番号:〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 1/3
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇設計業務

主任監督職員

令和〇年〇月

管理技術者

監督職員

発注者:〇〇〇〇〇〇〇〇〇
受注者:〇〇〇〇〇〇〇〇〇株式会社

ウイルスチェックに関する情報
ウイルス対策ソフト名:〇〇〇〇
チェック年月日:〇〇〇〇年〇月〇日
CD-Rフォーマット形式:JOLIET

CD-R のラベル記載例

電子媒体納品書

主任監督職員
殿

受注者 (住所)
(氏名)

(管理技術者 氏名)

印

下記のとおり電子媒体を納品します。

記

工事名				工事番号	
電子媒体の種類	規格	単位	数量	納品年月	備考

備考

電子媒体納品書の書式例

業務名 浜松医科大学臨床講義棟外部通路屋根基本設計業務

設 計 概 要 書

令和7年7月

国立大学法人 浜 松 医 科 大 学

I 事業趣旨及び目的

1 整備目的

本事業は、既存の臨床講義棟外部通路屋根を安全構造上 適切な屋根に改修または改築する。

II 敷地概要

1 敷地条件、都市計画条件等

- | | |
|-------------|---|
| ① 敷地位置 | 静岡県浜松市中央区半田山 1 丁目 2 0 番 1 号 |
| ② 敷地面積 | 2 3 4 , 7 0 8 . 6 7 m ² |
| ③ 敷地用途 | 大学（医学部） |
| ④ 区域・用途地域 | 都市計画区域（市街化区域）
第一種、第二種中高層住居専用地域 |
| ⑤ 防火地域指定の有無 | 無 |
| ⑥ 形態規制 | |
| ◇建ぺい率 | 6 0 % （法令等に規定する値） |
| ◇容積率 | 2 0 0 % （法令等に規定する値） |
| ◇日陰規制 | （二） 4 時間 2 . 5 時間 |
| ⑦ その他の区域等 | 法第 2 2 条区域、高度地区、宅地造成工事規制区域、
下水道区域、都市計画学校、土砂災害特別警戒区域、
景観計画区域、地震防災対策強化地域、
公害防止地域（大気汚染、騒音、振動、悪臭、水質汚濁） |

III 建物概要等

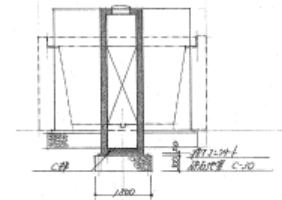
1 建物概要（既存）

- | | |
|------------|-----------------------------------|
| ① 建物用途 | 大学 |
| ② 建物面積 | 建築面積：7 2 m ² （開放的渡り廊下） |
| ③ 主要構造及び階数 | 鉄骨造 地上 1 階 |
| ④ その他 | 配置及び平面等については別図 1、2 による |

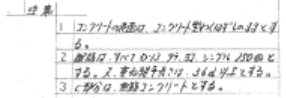
IV 設計概要等

1 設計概要

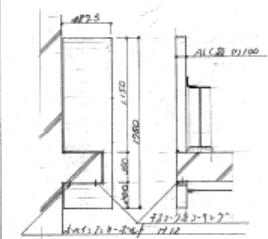
- ① 既存外部通路屋根の改修または改築を計画する（改修及び改築の構造比較検討）
- ② 本建物下には共同溝や既存建物基礎等があり干渉の恐れがあるため、基礎等を設ける場合には十分に検討を行い周辺建物含め安全を確認する
- ③ 工事中の騒音、振動、粉じん及び異臭等の影響が極力少なくなるよう使用材料及び工法等について十分に配慮する
- ④ 接続棟は居ながら改修となり、患者とスタッフが交差するメイン動線のため、支障が最小限になるよう配慮した仮設計画を作成する
- ⑤ 維持管理・更新を考慮し、非構造部材の耐震化（天井等）を図る
- ⑥ 工法はコスト・工期を比較検討したものを作成する



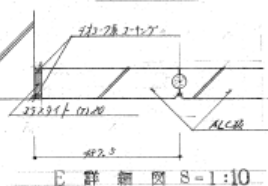
B-B 断面图 S=1:100



屋架结构图 S-1:100



—天井伏圖 S=1:100



—天井伏圖 S=1:100



—天井伏圖 S=1:100



—天井伏圖 S=1:100

[illegible]

工事名称：浜松医科大学環境整備工事（その2）
図面名称：配置図、梁伏図、屋根伏図、天井伏図、詳細図、平面図、断面図
製 作：S52.11 縮 尺：1/3000,1/100,1/30,1/20,1/10

参考図：既存屋根新設時図面